

2022年8月5日

環境論壇「海の環境・資源問題」についての投稿の呼びかけ

佐々木創・若松宏樹・横尾英史・笹尾俊明

第16巻第1号の環境論壇のテーマは「海の環境・資源問題」とします。

近年の急激な人口増加と経済成長に伴って様々な環境問題が引き起こされ、その影響は海洋にも及んでいます。

地球温暖化・気候変動によって変わった魚の生息域や生態は漁業や漁業管理に大きな影響を及ぼし、二酸化炭素濃度の上昇は海洋を酸性化させ、海洋生物の生育環境を脅かすことが懸念されています。また、人々の重要なタンパク源を供給する漁業資源は利用し尽くせない程あると考えられていましたが、今ではその9割以上が乱獲されているか、これ以上獲ると乱獲というラインにまで来ています。

一方、海洋汚染を契機に国際的な関心が高まったプラスチック問題では、問題解決に向けた機運が高まり、プラスチック汚染対策に関する条約の合意に向けた議論が進みつつあります。2022年3月の国連環境総会（UNEA5.2）では政府間交渉委員会の設立に関する決議が採択され、プラスチックのライフサイクルに渡る取組や国別行動計画の策定・報告などが検討されています。日本でもプラスチック資源循環促進法により、製品ライフサイクル全般でのプラスチック資源循環の促進が求められています。

この他にも日本が抱える「海の課題」は多数あります。福島原子力発電所の処理水海洋放出や洋上風力発電建設の環境と漁業への影響・社会的受容、2020年モーリシャス沖での重油流出事故の対応、東南アジアのマングローブ林保全と日本向けの魚介類養殖の関係といった環境・資源問題に私たちは直面しています。

そこで第16巻第1号の環境論壇では、海洋生物の保護や漁業資源の管理、海洋汚染対策など幅広い海の環境・資源問題をテーマに、問題解決に向けた政策対応や研究成果について環境経済・政策学の視点から考察した論考を募集します。

【原稿執筆・投稿に際しての注意点】

- 『環境経済・政策研究』投稿規定・執筆要領（2022年7月改定版）
http://www.seeps.org/pdf/journal/jj_instruct2022.pdf のとおりに原稿を執筆し、投稿してください。
- 環境論壇ではご自身の研究結果を含まなくとも構いませんが、他者の研究結果・データ・主張等を用いる場合は、必ず出所を明確にしてください。また総説の紹介ではなく、ご自身の視点で主張を展開してください。様々な分野の専門家および一般市民を対象としたものであることを念頭に置いて、高度に専門的な論考はお避けください。
- 投稿は環境経済・政策学会ウェブサイト上の投稿システム
(<http://www.seeps.org/ojs/index.php/seeps/>) から行ってください。もし投稿できない場合は、笹尾 (tsasao@fc.ritsumei.ac.jp) まで、メールで送付してください。

【投稿締切】

2022年11月11日（金）

【投稿後の留意点】

- 投稿された論考は、編集委員会で迅速に査読を行い、掲載の可否を決定します。その際、修正を求めることがあります。査読結果を踏まえた修正原稿の送付の際には、修正箇所がわかる原稿とあわせ、修正内容や照会事項に対する回答をまとめた一覧表も提出してください。（書式は自由です。）
- 掲載否となった場合、不受理の理由のみをお伝えし、査読報告書は特にありませんので、ご了承ください。